

?

調査概要

調査目的：	医師のブランド想起を元に、各プロモーションの有効性を定期的にトラッキング	有効回答：	約10,000s
調査方法：	インターネット調査	調査期間：	年4回（1・4・7・10月）
調査対象：	全国の臨床医	調査主体：	株式会社インテージヘルスケア

製品想起ランキング

※医師が製品5つを想起し、各製品の印象を評価。
 下記ランキングは印象が「ニュートラル以上(ポジティブ)」のみを分析対象とする。
 ※下記結果は診療科問わずTOTALで算出（診療科等による絞込みも可）

IMPACT
TRACKSOC
SHARE OF CHANNELS2019年4月
TOTAL想起数New:
2019年1月
TOP10圏外

- 1 タケキャブ
- New 2 ビラノア
- New 3 タリージェ
- 4 グーフィス
- 5 ルパフィン
- New 6 モビコール
- 7 サインバルタ
- 8 リリカ
- 9 リクシアナ
- New 10 イベニティ

2019年4月
MR想起数

- 1 タリージェ
- 2 イベニティ
- 3 ルパフィン
- 4 モビコール
- 5 グーフィス
- 6 ビラノア
- 7 タケキャブ
- 8 ミネプロ
- 9 ベオーバ
- 10 リクシアナ

2019年4月
ノンプロ想起数

- 1 タケキャブ
- 2 ビラノア
- 3 リリカ
- 4 ルパフィン
- 5 サインバルタ
- 6 アミティーザ
- 7 グーフィス
- 8 サムスカ
- 9 ヘルソムラ
- 10 ネキシウム

2019年1-3月
MR宣伝回数

- 1 タケキャブ
- 2 グーフィス
- 3 フォシーガ
- 4 ルパフィン
- 5 ネキシウム
- 6 スージャヌ
- 7 サインバルタ
- 8 ビラノア
- 9 モビコール
- 10 リクシアナ

SOC2019年4月 TOTAL想起数No.1はタケキャブ

全チャンネル総合で最も想起された薬剤はタケキャブであった。2019年1月はゾフルーザが季節性の要因もあり1位となったが、今回はタケキャブが1位へ振り返った。タケキャブはTOTAL想起数、ノンプロ想起数、MR宣伝回数でも1位となっている。

また、4月中旬発売のタリージェが早くもMR想起数で1位を獲得している。

本調査結果・SOCに関するお問い合わせ ant-syndicated@intage.com

*記事本文・データ転載をご希望の際は、上記メールアドレスにご連絡ください

SOC
SHARE OF CHANNELSIMPACT
TRACKSOC
SHARE OF CHANNELSIMPACT
TRACK

	2019年4月 TOTAL想起 No.1	2019年1-3月 MR宣伝回数 No.1		2019年4月 TOTAL想起 No.1	2019年1-3月 MR宣伝回数 No.1
一般内科	タリージェ	フォシーガ	一般外科	タケキャブ	タケキャブ
循環器内科	エリキュース	エリキュース	心臓血管外科	サムスカ	エリキュース
消化器内科	タケキャブ	タケキャブ	消化器外科	タケキャブ	タケキャブ
呼吸器内科	キイトルーダ	シムビコート	呼吸器外科	タグリッソ	キイトルーダ
血液内科	ダラザレックス	ガザイバ	整形外科	リリカ	サインバルタ
糖尿病内科	トルリシティ	トラディアンス	脳神経外科	イーケプラ	ビムパット
リウマチ科	オルミエント	ケブザラ	乳腺外科	イブランス	ベージニオ
腎臓内科	オルケディア	オルケディア	産婦人科	ヤーズフレックス	レルミナ
神経内科	アジレクト	アジレクト	皮膚科	ドボベツト	ドボベツト
			泌尿器科	ベオーバ	ベオーバ
			耳鼻咽喉科	ビラノア	ビラノア
			精神科	レキサルティ	レキサルティ
			眼科	エイベリス	エイベリス
			小児科	モビコール	ゾフルーザ
			放射線科	EOB・プリモビスト	EOB・プリモビスト
			麻酔科	ブリディオ	リリカ
			救急科	リコモジュリン	リコモジュリン

26診療科で“No.1薬剤”をそれぞれまとめた。
「製品想起」「MR宣伝回数」で“No.1薬剤”の異なる診療科は半数の13診療科であった。

※ご興味のある方はインテージヘルスケア担当者までご連絡ください

本調査結果・SOCに関するお問い合わせ ant-syndicated@intage.com

*記事本文・データ転載をご希望の際は、上記メールアドレスにご連絡ください